

月刊

あなたにこの本を！

令和5年6月号

大阪市立図書館 「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。



…字が大きめ

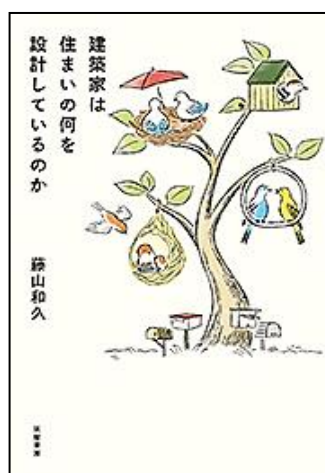


…中高生にも



…図・写真が多い

※価格のあとの（ ）内の番号は、大阪市立図書館書誌IDです。



建築家は住まいの何を設計しているのか

藤山和久 著

筑摩書房

1800円 (0015300583)

ジャンル：知識・教養を深める

住宅分野の建築家たちは、何をどう考え設計をしているのか。天井は高い方がいい、収納は多い方がいいといった住まいの常識、数値化しづらい住宅性能や快適さについて、好事例・失敗事例を交えて分かりやすく解説する。玄関から分ける完全分離型の二世帯住宅や、屋根付きの駐車場兼物干し場といった半屋外空間など、施主の要望に沿うだけでなく、潜在的な希望を掘り起こして理想を実現する。暮らしやすい住宅設計に隠された工夫や意図に触れることができる。[527]



苦手から始める作文教室

—文章が書けたらいいことはある？—



津村記久子 著

筑摩書房

1100円 (0015263350)

ジャンル：暮らしにうるおいを

小説家なのに書くことが苦手になってきたという著者が、自分なりの作文の書き方を提案する。テーマの決め方、メモの取り方などを著者による作例も交え、飾らない語り口で紹介する。言うか迷うようなたわいないことでも、特別なことが起きなくても、心に浮かんだことなら書く意味がないことはない、と言う。バズらない文章や誰も読まない文章に価値はあるかという問いに対する「未来の自分が読みます」という答えは力強く、書くことの本質に迫っている。[816]

世界はさわらないとわからない

－「ユニバーサル・ミュージアム」とは何か－

広瀬浩二郎 著

平凡社

940円 (0015232387)

ジャンル：知識・教養を深める

「ユニバーサル・ミュージアム」(誰もが楽しめる博物館)の実践に取り組む全盲の文化人類学者が、触覚が持つ可能性に向き合う研究の軌跡をつづる。すべての展示資料に触れることができる特別展を開催し、音にさわることテーマに、隆起印刷による点字と触図を掲載した絵本も刊行した。自身の体験談を交えながら、視覚に頼らない「触文化」の大切さを説く。非接触が推奨されてきた今、さわることにより豊かになる世界に気付かされる。[069]

文学は予言する

鴻巣友季子 著

新潮社

1600円 (0015302785)

ジャンル：現代社会を見つめる

本書は、急速に変容する現代社会と向き合うために、文学をどう読むか問題提起したブックガイドだ。翻訳者・文芸評論家の著者が、ここ十数年の国内外の文学作品を概観し、現実を可視化するという「文学の予言性」について論じた。女性の人権をとりあげ、強制的に出産させる独裁政権を描いた『侍女の物語』は、国家が生殖に介入する管理監視社会を予測したものだとも考察する。他者を洞察する視点を持った読書から多様性が生まれると結ばれ、知的刺激に富む。[904]

洋装の日本史

刑部芳則 著

集英社インターナショナル

990円 (0015296826)

ジャンル：歴史・文化に親しむ

明治から昭和にかけて、日本で女性に洋服が受け入れられていった経緯をたどる。当初の洋服には欠点が多かったが、制服や子ども服としてのセーラー服の普及、洋裁学校の設立など、次第に生活に根付き、戦時中の抑圧がその後の洋裁ブームにつながったという。白木屋の火災がきっかけで女性が下着をはくようになった、といった通説も改めて検証され、興味深い。随所に紹介される当時の雑誌や写真などから、人々の意識が変化していく様子がよくわかる一冊。[383.1]

大阪市立図書館では、図書館で受け入れた一般成人向け新刊図書から、「あなたにこの本を！」選定委員会で推せんする図書を選び、「月刊あなたにこの本を！」を発行しています。生涯学習に役立つよう、また、多くの人々に読書に親しんでいただけるよう、幅広い視点で図書を選んでいます。

バックナンバーは大阪市立図書館ホームページ「あなたにこの本を！」でご覧いただけます



「あなたにこの本を！」に選んだ図書の書誌データと紹介文を、オープンデータとして公開しています。

1冊ずつにジャンルと紹介文をつけていますので、ご活用ください。

https://www.oml.city.osaka.lg.jp/?page_id=413